[第三種郵便物認可]　昭和十年九月三日　磐城新聞　(夫人欄)　第四千四百十七號

夕刊

學校と家庭

石田正

上

一ケ月に亘る暑中休暇を了つて各小學校とも今日から一齊に第二學期に入つた、時節柄好個の讀み物であらう（一記者）

兒童の教育は、學校と家庭とが連絡提携して始めて良好なる結果を見ることが期待します。從來は先生が主であり、教へるものであつたのが、今日では兒童が主で、何かを慾求するものであると云ふ觀方が著しくなつて來た。そして先生はいつも兒童の進んで行く方向を歩んでゆく道程を監視する言ひ換へれば、兒童の個性に基いて之を遺憾なくどこまでも助長するやうに指導するのです

そのためには、學校と家庭とが全く別個のものであつてはなりません。學校の延長は家庭で、家庭の延長は學校と、二にして一の關係こそ望む處であります。

太陽と雨です

愛の光を一ぱいに浴び慈の露を充分受けて新芽はすくすくと伸びて行くやうに兒童は學校に家庭に愛の翼に包まれてぐんぐん育成するのです。學校と家庭とが二にして一の關係を保持するのであるが、家庭側は大部分が玄人でない家庭側から積何せ學校側は教育專門家でいからして、學校側から積極的に出て、教育に對する學校側から家庭への希望としては、次のやうなことが特に氣付いた所であります

先づ家庭でのお仕事でありますが、適當の豫習と復習をさせる程度でありた下調に余り力を加へすぎると、どうも明日の學校の授業に注意の散漫をきたす虞があるからです。そこで出來れば、適當の宇引を與へて自學させるべきでせう。特に低學年に於ては、只よい意味に於ての癖をつける程度で宜いだらうと思ひます

この指導に當つては、向じ方針を以て指導願ひ、それにどんな事があつても勵みもつくやうに心掛ることです

よく耳にするのは、『はんとに家の子は乙ばかりでね……』ところでお宅のお子さんは大變成績がお宜しくて結構で御座いますわね……』又たまに父兄が見えても、すぐさま、『先生、家のはどんなものでせうか』と成績の事である。この『どんなものでせうか』に意味の深い言葉ではあるが、實際は至極簡單で、學業成績のことだけを言ふてゐるのに外ならない、兒童の總てを了つて各小學校とも今日から一齊に第二學期に入つた、時節柄好個の讀み物であらう（一記者）

兒童の教育は、學校と家庭とが連絡提携して始めて良好なる結果を見ることが期待します。從來は先生が主であり、教へるものであつたのが、今日では兒童が主で、何かを慾求するものであると云ふ觀方が著しくなつて來た。そして先生はいつも兒童の進んで行く方向を歩んでゆく道程を監視する言ひ換へれば、兒童の個性に基いて之を遺憾なくどこまでも助長するやうに指導するのです

そのためには、學校と家庭とが全く別個のものであつてはなりません。學校の延長は家庭で、家庭の延長は學校と、二にして一の關係こそ望む處であります。

（大變總べての方面に成績が宜しくなつて來ました）ところで學校と家庭とは決して別個のものではありませんが、勿論、主と從と云ふ關係でもありません

月曜論壇

農村の醫療施設

地方民の保健衛生狀態から云つて未だ必ずしも過刻と云ふべきではないかも知れぬが、至る處近代文化の尖端を行く各科の病醫院が巍然聳立して、所謂新興都市の一新風景をなしつゝある平町から僅かに一二里乃至數里にして全然醫師のない村が郡下に今尚ほ數ヶを算する事は多くの人の餘り思ひ及ばぬ寧ろ驚異に近い事實であらう、而も赤井村の如きは殆ど平町の郊外とも云ふべき近距離に在つて自村に之れなくもさまで不便を感じなかつた關係もあつたにせよ、少くも省鐵沿線の農村であり乍ら從來之に惠まれなかつたのが今回縣下十ヶ所の一として、昨年三菱から寄附を受けたる百萬圓の一部を以てなされた內務省の農村醫療施設村の選に加へられたのは、其丈け同村の之方面に於ける不便と苦腦が現實に輕減されるものとして寔に慶賀に禁へない事である。最近の東日社說にも——之は大局的に見れば農村の救濟と更生の達成につれて自然に解決される問題であらう、けれども現在の客觀的狀勢から見て農村の全的更生が二年や三年で實現するものとは思はれない、然りとせば農村に於て、農村の現に最も必要として居る醫療施設を普及徹底せしむる事は數ある社會事業中最も重大な案件と云はねばならぬ、所謂『醫師の無い村』は前議會に於ても問題になつたが之に對する後藤內相の態度は極めて頼りないものであつた、雖然農村の醫療施設をすら等閑に附して置いて果して農村の更生を期待し得るであらうか——と云つて居る、眞に其通りであつて赤井村が今回幸に之の苦腦から脱却し得たのを欣ぶと共に、吾人は此の餘りにも判り切つた問題に對して當局が最も眞劍に考慮し速かにその對策を樹立せん事を切望する一面に於て、地方にも此際一小三菱の出現する事を祈念して措かない、再言す醫師無し村が郡下尚は數村ある事を

強豪入山を撃破して 磐炭軍堂々覇を制す

壯絶な鑛山水泳大會戰績

仙臺鑛山監督局主催、常磐三大炭鑛（磐城、入山、古河）第三回水上選手權大會は昨一日の日曜を卜し午後一時から磐炭金坂グラウンド上のプールに擧行した、選手は一鑛十五名宛四十五名出場、朝來の曇天からコンヂションは餘りよくなかつたが選手の意氣軒昂、意氣づまる熱戰を展開した結果各種目共磐炭が壓倒的記錄を作り昨年優勝した入山の堅陣を物の見事にノックアウトして『水上磐城』の名をはせた

△百米自由型—海老名（入出）一分六秒八△四百米自由型庄司（磐城）五分四一秒二△百米背泳佐藤利（磐城）一分二三秒二△二百米胸泳矢內（磐城）三分一八秒八△二百米リレー磐城（森、庄司、村上、佐藤利）二分一秒八△千五百米自由型庄司武（磐城）二三分一秒五△三百米混繼泳磐城（佐藤、矢內、森）四分二秒二△八百米繼泳磐城（森、佐藤登、佐藤利、庄司）一〇分五四秒二

水煙に競ふ

新記錄デーの觀

衝天の概終に

惡コンヂションを征服

前記水の爭覇戰は惡天候に阻まれて水温、氣温共不適當の禍に終始したが各鑛共前回に比し進境目覺しく斷然優勝の旗を飜した磐炭軍は第二回の記錄を更新して地方水泳界に大きな收穫をもたらし宛然新記錄デーの觀を呈して觀衆を感嘆せしめた、因に更新された舊記錄左の如し

（百米自由）一分一一秒九（四百米同）五分四五秒九（百米背泳）一分二六秒（二百米胸泳）三分二四秒四（二百米リレー）二分五秒二（千五百米自由）二三分五二秒（三百米混繼泳）四分七秒四（八百米リレー）一一分フラット

小學生競泳

之亦磐炭側捷つ

尙同プールで行つた三大炭鑛小學生對抗水上競技會の優勝校左の如く之亦磐炭軍が凱歌を奏した

△尋常科百米自由型鈴木（磐城）△高等科四百米繼泳磐城（佐藤、豐島、門馬、八巻）△尋常科二百米繼泳入山（安齊、井川豐田）△高等科二百米自由型玉川（古河）

今日から小名濱で 六縣水產大會

明、明後日續行

第七回關東北六縣水產大會は既報の如く今二日小名濱小學校講堂に於て定刻を過ぐる三十分午前十時半より開會縣水產會長迫經濟部長の挨拶戶田農林省水產局長代理、井出同局漁政課長、伊藤知事の祝辭村野帝國水產會長代理小林主事、伊谷大日本同上代理石川農林事務官の挨拶あつて議事（イ、議長選擧ロ、前回の經過報告ハ、既報提出問題協議）を了し正午休憩、午後一時再開同三時講演四時散會した、尙は明三日は午前十時から水產試驗場並水生講習所落成式、午後一時開會議事四時散會、翌四日は午前九時開會、議事正午閉會、それより日本食糧株式會社工場、大敷網を視察する筈である

北東關

けふ始業式

充實の第二學期へ

充實の第二學期！學びの苑に在る生徒兒童等にとつてその修學の充實期ともいふべき第二學期は愈々今二日から始まつた、今日平町の各中小その他學校では午前八時から始業式を行ひ各小學校兒童は休み中の成績を提出、お掃除等して歸つたが磐平商の二校は直に授業を開始した

爆發的高値から 繭價稍々下向く

一喜一憂の養蠶家

兩日の取引況次の如し（三十一日）出廻一、四九九貫六三〇匁 高四五圓 安三八、八〇錢（一日）出廻一、一六六貫 高四二、八〇錢 安三七圓 則三九、八〇錢

天地聲無き午前零時

震災記念の非常召集

祈願其他緊張を馴致し縣議戰に備ふ

昨曉平署員の總出動

縣警察部では昨一日の震災記念日に際し災害の防止並に警戒上に關し警察官としての平常に於ける準備心得の狀況を知り且つ之が覺悟訓練とを强化せしめ一面來るべき縣會議員選擧取締を目捷に控へ身自ら清淨なる精神を以てその任に當るには卒先して神前に祈願し警察精神を一層發揚し眞に公やなる職任を果すの目的を以て同日午前零時を期し縣下各署に對し一齊に甲號非常召集（警察部長の命令）を實施した、命を受けた平署では直に管內全般に急報し署前で規律訓練等を行ひ午前八時より平商雨天体操終つて同五時半から縣社子鍬倉神社に祈願し、握り飯を喫し午前二時半から縣社子場（銃劍術）神谷村東部射擊場（刀術）の各會場に開催、國在鄕軍人會石城聯合分會主催第八回武術大會は昨一日體育會三年連勝して優勝旗を獲得、古河炭鑛分會同點だが射擊が劣つたゝめ第二位三郡二男昇平（三）同四男兼正平（三）同五男兼正平（三）の兩日朝八時頃小名濱町吉（四）同字馬上稻吉長男幸（三七）が同字七西丸重亀方のガソリン罐へ引火、大音響と共に爆發、傍らで見てゐた兵隊二人が負傷した

萩原式高速度編物講習成績好評

萩原式高速器編物講習會は斯道の權威者鷲尾講師により磐城、入山兩炭山に開催され好評裡に終了し受講者に其便利なるを喜ばれた、續いて來る三、四日の兩日は小田及萩原の兩炭山合併にて開催される、平町でも近々開催される由、尙は開講希望者又は團体は至急東北一手販賣店平町田町萩原商會（電話五九二番）へ申込まれたいと

武練に非常時を強調

昨日三ヶ所で催した

在軍第八回大會成績

第三校打合會 平町三小學校事務打合せ會は明三日午後第三校に開き九月中の行事並に縣よりの指達による選出運動に關し協議する

大越校長快癒 赤井第二小學校長大越國治氏は過般眼疾を患ひ郡山市今泉眼科醫院、新潟醫大眼科病院に入院加療中であつた經過良好で全快に近く一昨三十一日歸校した

司法主任發著 平署から若松司法主任に榮轉の警部補渡部泰治氏は今二日午前八時三十分平發で多數見送りの裡に赴任した、尙高田署から榮轉の後任柴一枝氏は明三日着任の筈

眞性傳貧馬

二頭を發見撲殺

石城產馬畜產組合では今回の檢診で左記二頭の眞症傳貧馬を出した

貝泊村蛭田菊一所有十七才馬、川前村佐藤松之助同五才馬

價格の漸騰から 地方米出荷增す

昨日の共同販賣成績

石城販聯の定期俵米共販は昨一日行つた、米價漸騰から出荷は前回の四百六十九俵に較べて俄然七百九俵、相場高値は十一圓六十七錢で前回より平均二十錢、前々回に比し四十錢の何れも高値で農家持米薄の關係から依然高値を示して居る

（平）九三俵一一、三四錢（飯野）三〇俵一一、四四錢（平窪一號）一四〇俵一一、六三錢（同二號）四〇俵一一、六六錢（草野信組）六二俵一一、三六錢（鹿島）三一俵一一、三八錢（大野）一六五俵一一、六七錢（小川）六七俵一一、五八錢

ガソリン罐破裂

三火傷兒中一名絕命

口付作業中の椿事

三十一日朝八時頃小名濱町吉（四）同字馬上稻吉長男幸古港三ブリキ職今川兵三郎二（三）三名は重輕火傷を負つたが兼吉は昨一日遂に絕命した

揺つ拂つて家出 卅一日終了後朝鮮地方を視察して本月下旬歸郡する

全身變色して急死

黃疸に心臟痲痺と判る

一時は簡易ホテル大混雜

內鄕村村大字綴字沼尻木賃宿二瀨屋方止宿畜家栃木縣窪村大字幕の內農鈴木某方雇人遠藤一（三）假名—で最初容易に口を開かなかつたが同人は百姓を嫌ひ、二十九日夜行きがけの駄賃と主家から賣り溜め金三圓餘と事平窪村幕の內工事詰所へ忍び入り同工事員若竹信一外一名所持の書籍、萬年筆鉛筆等（價格十餘圓）をかつ拂ひ書籍を昨一日午前平町五丁目片寄古書店へ賣り飛ばさんとした處を張り込み谷刑事に捕はれ取調べの結果畑荒し十數件を自白した

郡下青年學校査閱

執行日割決定發表

野荒し三名

書籍泥が端緒で

昨日檢擧さる

神谷村上片寄農大原三郎（一九）假名—外二名（一七才、二六才）は共謀して三十一日午前三時半頃夏井川改修工事平窪村幕の內工事詰所へ忍び入り同工事員若竹信一外一名所持の書籍、萬年筆鉛筆等（價格十餘圓）をかつ拂ひ書籍を昨一日午前平町五丁目片寄古書店へ賣り飛ばさんとした處を張り込み谷刑事に捕はれ取調べの結果畑荒し十數件を自白した

第一回 將棋大會 來十五日開催

此程創立した石城將棋聯盟では第一回秋季大會を來る十五日の日曜を卜し午前十時より平町五丁目吉田屋樓上に開くが會費食事付五十銭

廣告

新田町 榮ちやんで おでんハ當分休マセテ頂キマス 夏ハ冷タイ飲物ニ 榮ちやん 獨特の料理

愈々近日開店 女店員數名至急募集 尋高卒以上ノモノ十八才ヨリ二十二、三才迄 給料 十五圓（住込通勤自由）（事務服支給） 申込締切 九月七日迄 申込所 平町三丁目 天地堂 電五八九 平町四丁目蓄音器專門店 天下堂

天下堂の待望

專門 耳鼻咽喉科 高柳 耳鼻咽喉科醫院 平町驛前（電三三六） 醫學博士 高柳博明 （入院應需 自炊ノ便アリ）

日出 五、〇九 日出前 九、四八 日沒 六、〇四 月沒後 八、一三 滿潮前 六、五五 干潮前 〇、五〇 後六、二五 干潮後 〇、四〇

三日（小名濱測候所調査）

舊 壬午 九月 先勝 六曜 新 火曜 月 三日 宿 日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 氣運は吉なれども甘言に陷りて損失を見る ▲二黑 固執して他の言を顧みず不利に傾くべき日 ▲三碧 努力すれば爲る程の功果を擧げ得る良好日 ▲四綠 他より大なる壓迫を受け去就の自在を失ふ ▲五黃 自重して事業に手を染むべし輕進は勞多し ▲六白 防ぐに手段なく大水增して堤の崩るゝ如し ▲七赤 平生の努力も僅かの欠陷に依りとんざする日 ▲八白 放つ矢は的を外れ矢を見出し難き海幸日 ▲九紫 殿ぎ立ちたる波も靜かに治まりたる如き日